

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	企業立地の促進						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと創生総合戦略	②	—			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市企業立地支援条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	「八王子ビジョン2022」及び「八王子市産業振興マスタープラン【第2期】」に掲げる企業誘致の推進を図るため、八王子市企業立地支援条例を活用した企業立地促進事業を進めていく。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	16,703	11,367	15,980	4,613	経常収入	保険料	0	0	0		
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,461	968	6,920	5,953		国庫支出金	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		都支出金	96,402	92,658	89,322	△ 3,336	
		小計	18,164	12,334	22,900	10,566		分担金及び負担金	0	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	0	0	0		0	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	224	3,716	0	△ 3,716
			その他	0	0	0		0	小計	96,626	96,374	89,322	△ 7,052
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 301,775	△ 270,542	△ 196,460	74,082
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	特別収入	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	特別収支差額(B)		0	0	0	0		
	小計	18,164	12,334	22,900	10,566	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 301,775	△ 270,542	△ 196,460	74,082		
	移転費用	380,237	354,582	262,882	△ 91,700								
	小計	398,402	366,917	285,782	△ 81,134								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	—	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
2.31人	1.59人	2.24人	0.65人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	4.6	3.4	8.0	4.7	
活動指標	奨励金指定件数	件	8	15	12	△ 3	指定件数は減少したものの、事業者の誘致、拡張は増加している。
	単位当たりコスト	円/件	49,800,199	24,461,116	23,815,191	△ 645,925	
成果指標	税込成果	億円	27	26	25	△ 1	企業立地支援制度を実施することで、毎年の税込増につながっている。
	単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
成果指標	雇用創出	人	5,908	6,284	6,430	146	企業立地支援制度を実施することで、毎年の雇用創出につながっている。
	単位当たりコスト	円/人	67,434	58,389	44,445	△ 13,944	
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画部等の関係所管と連携し、新たな事業用地等の情報収集に努める。</li> <li>・平成31年4月より企業立地支援条例を改正したため、新制度の周知徹底と着実な運用を図り、指定事業者件数を増やしていく。</li> <li>・川口物流拠点への企業立地の実現に努める。</li> </ul>	2年度末時点の課題	平成30年度末までの時限条例となっていた企業立地支援条例の改定を実施したため、新制度の周知徹底、着実な運用を進める。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地支援条例に基づき、12件の事業者を指定し、累計の指定実績が158件となった。</li> <li>・既指定事業者に奨励金を交付した。（奨励金交付事業者等27件 259,172,277円）</li> <li>・東京都、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施した。</li> <li>・企業立地サポートネット活用実績 29件（令和2年度：23件）</li> <li>・川口物流の企業立地に向け、企業への説明や事業の周知に努めた。</li> </ul>	課題への対応	東京都、金融機関、産業支援機関等への制度周知活動を実施し、指定件数の大きな減少はなかった。
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	解決 拡充

今後の取組

4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定事業者数の継続的な増加を図る。</li> <li>・令和5年度の条例改正に向け方向性を検討する。</li> </ul>	3年度末時点の課題	現行条例は令和5年度で終了するため、制度の拡充を含んだ令和6年度以降の改正条例の施行に向け、支援の方向性について検討を進める必要がある。
4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定事業者数の継続的な増加を図るため、制度の周知と説明を継続する。</li> <li>・川口土地区画整理事業等の事業用地への誘致に向け、都市整備課と連携し、事業者への接触機会を増やす。</li> <li>・現行の制度運用を見直し、より企業の立地を進められる内容とするための検討を行う。</li> </ul>	5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定事業者数の継続的な増加を図る。</li> <li>・4年度に検討した内容に基づき、条例の延長事務を進める。</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	中小企業等の活性化支援						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市産業振興マスタープラン【第2期】												
事業目的 (最終的に目指す状態)	「八王子ビジョン2022」及び「八王子市産業振興マスタープラン【第2期】」に掲げる企業支援を推進するため、市内中小企業の販路拡大や人材育成、新たな技術・製品の開発及び事業拡大などを支援し、企業の生産性向上による地域経済の活性化を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	21,114	13,011	25,824	12,813	経常収入	保険料	0	0	0		
		賞与・退職手当引当金繰入額	5,472	1,108	15,749	14,641		国庫支出金	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		都支出金	4,392	6,592	6,431	△ 161	
		小計	26,586	14,119	41,573	27,454		分担金及び負担金	0	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	3,985	2,658	5,725		3,067	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	38	6,272	33	△ 6,240
			その他	0	0	0		0	小計	4,430	12,864	6,464	△ 6,401
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 70,120	△ 59,574	△ 96,237	△ 36,662
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	特別収入	0	0	0	0
			小計	0	0	0		0	特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	30,571	16,776	47,298	30,522	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 70,120	△ 59,574	△ 96,237	△ 36,662		
	移転費用	43,980	55,662	55,402	△ 260								
	小計	74,550	72,439	102,700	30,262								
3年度	経常費用				経常収入								
主な内訳	サイバーシールド八王子負担金等【28,761千円】 小規模事業経営支援事業補助金【17,596千円】				地域産業活性化計画事業費補助金【6,431千円】								

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
2.92人	1.82人	3.62人	1.80人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	35.7	19.5	40.5	21.0	
活動指標	本気の創業塾受講者	人	20	12	12	0	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により定員を20名から12名に減らして実施したため。
	単位当たりコスト	円/人	3,727,518	6,036,555	8,558,359	2,521,803	
活動指標	はちおうじ未来塾受講者	人	9	0	8	8	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送り、令和3年度は、定員10名に対し、8名受講したため。
	単位当たりコスト	円/人	8,283,373	—	12,837,538	—	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会出展支援補助及び販路拡大支援補助67件</li> <li>・後継者10名、創業者20者を育成するとともに、農商工連携を推進する。</li> <li>・創業支援体制の強化に向けた連携強化</li> <li>・事業承継促進に向けた国及び都の機関との連携強化</li> <li>・令和4年秋の都立産業交流センター開設を見据え、本市の製造業の活性化につながるものづくり系イベントの検討を行う。</li> </ul>	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく売上が減少した事業者の売上改善</li> <li>・多様化・複雑化及びグローバル化に対応できる事業者育成のための支援策検討</li> <li>・市内事業者の経営者の高齢化対策及び事業承継支援</li> <li>・都立多摩産業交流センターを活用したイベント検討などの準備</li> </ul>
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会出展支援補助及び販路拡大支援補助 72件</li> <li>・はちおうじ未来塾 8名受講</li> <li>・本気の創業塾 12名受講</li> <li>・ものづくり系イベント開催に向けた検討を行った。</li> </ul>	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示会出展支援補助及び販路拡大支援補助 72件</li> <li>・はちおうじ未来塾 8名受講</li> <li>・本気の創業塾 12名受講</li> <li>・ものづくり系イベント開催に向けた検討を行った。</li> </ul>
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者10名、創業者12名を育成するとともに、新産業創出・農商工連携を推進</li> <li>・計画的な事業承継促進に向けた関係機関との連携</li> </ul>	3年度末時点の課題	事業承継支援の内容、方法
4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はちおうじ未来塾、本気の創業塾の実施</li> <li>・販路拡大や海外展開を目的とした各補助制度の実施</li> <li>・外部機関との連携による創業支援の実施</li> <li>・外部機関との連携による事業承継啓発セミナーの実施</li> <li>・都立多摩産業交流センターでのものづくり系イベント実施</li> <li>・新規事業創出を目的としたプログラムの実施</li> </ul>	5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産性向上に向けた支援策の実施</li> <li>・後継者を含めた次世代人材の育成</li> <li>・創業支援体制の強化</li> <li>・中小企業の新規事業創出、市場競争力強化に向けたプログラムの実施</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	繊維産業の振興						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②	—			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市繊維産業振興事業補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	地場産業である八王子の繊維産業の振興を図るため、繊維産業振興団体が展開する新製品の開発や販路拡大等の活動を支援する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	2,892	1,930	571	△ 1,359	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,926	164	49	△ 116		国庫支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	
		小計	5,818	2,095	619	△ 1,475		分担金及び負担金	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	292	275	0		△ 275	使用料及び手数料	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	0	683	1,230
			その他	0	0	0		0	小計	0	683	1,230
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 8,073	△ 3,649	△ 1,352
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0
その他			0	0	0	0	特別収入	0	0	0		
小計			0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0		
小計	6,111	2,369	619	△ 1,750	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 8,073	△ 3,649	△ 1,352				
移転費用	1,962	1,962	1,962	0								
小計	8,073	4,331	2,581	△ 1,750								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	繊維産業振興事業補助金【1,962千円】	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.40人	0.27人	0.08人	△ 0.19人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	72.1	48.4	24.0	△24.4	
活動指標	補助金交付件数	件	2	2	2	0	—
	単位当たりコスト	円/件	4,036,254	2,165,729	1,290,725	△ 875,004	
成果指標	補助金交付額	円	1,962,000	1,962,000	1,962,000	0	—
	単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路開拓事業等の補助対象事業の計画通りの実施</li> <li>・織物のまちであることの認知度の向上のための支援</li> </ul>	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継承者の育成など八王子織物の伝統を守るための事業と、新たな視点による製品開発、ブランド開発などの事業とを同時に進めることが必要</li> <li>・織物のまちであることの認知度の向上</li> </ul>
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維産業振興団体（2件）に計1,962,000円の補助を実施した。補助団体は、当初の計画通りの事業を行った。</li> <li>・織物のまちであることの認知度の向上のための支援を実施した。（後援名義等）</li> </ul>	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「八王子織物総合展」にて、産地ブランド「マルベリーシティ」ネクタイ、伝統的工芸品「多摩織」等を展示し、一般消費者等に対し地場織物の魅力PRに努め市場開拓に繋げた。</li> <li>・日本最大の繊維見本市「ジャパנקリエーション2020A/W展」に出展した。</li> </ul>
			解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販路開拓事業等の補助対象事業の計画通りの実施</li> <li>・織物のまちであることの認知度の向上のための支援</li> </ul>	3年度末時点の課題	織物のまちであることの認知度の向上のための継続した支援
4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維産業振興団体が実施する新製品の開発や販路拡大等の活動を支援する。</li> <li>・繊維産業振興団体が実施する織物のまちであることの認知度の向上のための取組を支援する。</li> </ul>	5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繊維産業振興団体が実施する新製品の開発や販路拡大等の活動を支援</li> <li>・繊維産業振興団体が実施する織物のまちであることの認知度の向上のための取組を支援</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	中心市街地の活性化						事業類型	その他					
担当部課	拠点整備部 市街地活性化課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと 創生総合戦略	③	④		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律、八王子市中心市街地活性化基本計画												
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地のまちの魅力づくり、にぎわいの創出に取り組むことで中心市街地の活性化を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	27,767	19,731	22,400	2,669	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	5,087	1,680	6,143	4,463		国庫支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	
		小計	32,854	21,411	28,543	7,132		分担金及び負担金	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	8,790	8,502	8,709		207	使用料及び手数料	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0
			減価償却費	849	849	3,135		2,286	その他	624	5,940	624
			その他	0	0	0		0	小計	624	5,940	624
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 47,552	△ 28,444	△ 46,377
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0
			その他	0	0	0		0	特別収入	0	0	0
			小計	0	0	0		0	特別収支差額(B)	0	0	0
	小計	42,493	30,762	40,387	9,624	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 47,552	△ 28,444	△ 46,377		
	移転費用	5,683	3,622	6,614	2,992							
	小計	48,176	34,384	47,000	12,616							

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	現況調査委託料【4,891千円】 空き店舗改修費補助金【3,000千円】 魅力づくり支援補助金【2,992千円】	夢五房賃貸料【623千円】

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
3.84人	2.76人	3.14人	0.38人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	68.2	62.3	60.7	△1.5	
活動指標	空き店舗への出店数	店舗	8	6	6	0	新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、創業意欲は変わらず存在している。
	単位当たりコスト	円/店舗	6,021,957	5,730,670	7,833,416	2,102,746	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

<p>3年度目標</p>	<p>①中心市街地活性化基本計画          掲載事業を着実に進め、適正な進行管理を行う。          ・計画期間の完了に向け、計画目標（歩行者通行量、新規出店数、小売業年間商品販売額）が達成見込みの水準になる必要があるため、目標指標の動向を見極め、適宜、的確かつ柔軟な対応を実施し、遅れている事業の推進と順調な事業の継続に取り組む。          ・コロナ禍による地域経済（特に、計画目標である小売業年間商品販売額）への影響を鑑み、民間事業者との連携をより一層深め、民間が主体となって進める事業の計画期間内の目標達成を目指し調整を図る。          ②所管事業          空き店舗改修費補助金、まちなか魅力づくり支援補助金など、まちの魅力づくりに資する事業について、事業者、関係機関に積極的な働きかけを行い、事業の進捗を図る。</p>	<p>2年度末時点の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の経済活力の低下</li> <li>・民間が主体となる事業の遅れ</li> <li>・中心市街地における回遊性・滞留性の不足</li> </ul>
<p>目標に対する事業実績</p>	<p>①中心市街地活性化基本計画          ・掲載事業91事業のうち、12事業が完了、実施中76事業          ②所管事業          (1) 空き店舗改修費補助金 交付 6件          (2) まちなか魅力づくり支援補助金 交付 2件</p>	<p>課題への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活力の向上、中心市街地における回遊性・滞留性の拡充に向けた、中心市街地活性化基本計画の掲載事業の着実な実施</li> </ul> <p style="text-align: center;">一部解決</p>
<p>3年度評価</p>	<p>やや不十分</p>	<p>次年度(5年度)以降の展開</p>	<p>現状維持</p>

今後の取組

<p>4年度目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化基本計画（現行）の着実な実施及び適正な進捗管理</li> <li>・中心市街地活性化基本計画（第2期）の策定</li> <li>・その他の所管事業の着実な実施</li> </ul>	<p>3年度末時点の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の経済活力の低下</li> <li>・民間が主体となる事業の遅れ</li> <li>・中心市街地における回遊性・滞留性の不足</li> </ul>
<p>4年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子商工会議所、八王子市まちづくり公社等との連携を通じた中心市街地活性化基本計画（第1期）掲載事業の実施</li> <li>・中心市街地活性化基本計画（第2期）の策定に向けた関係者との密な連絡調整</li> <li>・まちなか交流・活動拠点等の各施設の管理運営</li> <li>・空き店舗改修補助金の交付、空き店舗マッチング事業</li> <li>・まちなか魅力づくり支援補助金交付</li> <li>・エリアリノベーションセミナーの開催</li> <li>・「まちなか」の掲載記事の定期的な投稿・周知活動</li> </ul>	<p>5年度の計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活力の向上、中心市街地における回遊性・滞留性の拡充に向けた、中心市街地活性化基本計画（第2期）の掲載事業の着実な実施</li> <li>・中心市街地のにぎわいや回遊性向上に向けた個別事業の確実な実施</li> </ul>



事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	MICEの推進						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	④	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市産業振興マスタープラン【第2期】、八王子MICE都市推進センター活動計画実施計画、公益社団法人八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光コンベンション協会に対する補助を実施し、本市の観光資源・産業資源を生かしたMICE誘致活動を展開することで、中心市街地をはじめとした市域への一層の誘客を図り、まちのにぎわいの創出につなげるとともに、経済波及効果を生み出していく。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	8,532	6,720	10,344	3,624	経常収入	保険料	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,862	572	4,522	3,950		国庫支出金	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0
	小計	12,394	7,292	14,866	7,574	分担金及び負担金		0	0	0	
	業務費用	物件費	226	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	226	956	0
		その他	0	0	0	0		小計	226	956	0
	小計	226	0	0	0	経常収支差額(A)		△ 60,300	△ 50,506	△ 54,093	△ 3,587
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0
徴収不能引当金繰入額		0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0	0	
小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 60,300	△ 50,506	△ 54,093	△ 3,587		
移転費用	47,906	44,170	39,227	△ 4,943							
小計	60,526	51,462	54,093	2,631							

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金【39,227千円】	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
1.18人	0.94人	1.45人	0.51人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	20.5	14.2	27.5	13.3	
活動指標	MICE開催支援件数	件	14	3	3	0	新型コロナウイルスの影響により、予定されていたMICE案件がオンライン開催や中止になったため。
	単位当たりコスト	円/件	4,323,309	17,154,095	18,031,052	876,957	
成果指標	経済波及効果	億円	4.4	0.1	0.2	0	2年度は開催補助金の交付無し、3年度は1件150,000円交付。
	単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

<p>3年度目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆MICE推進体制整備</li> <li>◆東京たま未来メッセ指定管理者及び東京都との連携強化、東京たま未来メッセの利活用に向けた検討</li> <li>◆市としてのMICE戦略の検討</li> </ul>	<p>2年度末時点の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆多摩産業交流センターの令和4年秋の開設に向け、指定管理者及び東京都との連携関係の構築</li> <li>◆MICE開催者からの要求に応えることが出来るように、事業者ネットワークの充実</li> <li>◆MICE誘致の営業強化</li> </ul>
<p>目標に対する事業実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆MICE推進体制整備</li> <li>○市産業振興部にMICE推進担当課長を新設</li> <li>◆MICEセールス活動</li> <li>○事業者ネットワーク会員を紹介するWebページを作成</li> <li>○MICE参加者用アプリ開発</li> <li>○ノベルティ制作（メモ用紙）</li> <li>◆MICE開催支援</li> <li>○支援件数：3件（うち補助金交付件数：1件）</li> <li>◆先進都市視察</li> <li>○Gメッセ群馬 視察</li> </ul>	<p>課題への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆指定管理者及び東京都との意見交換</li> <li>◆市と観光コンベンション協会の連携</li> <li>八王子観光コンベンション協会・東京観光財団による月1回の定例会への参加をはじめ、市職員と観光コンベンション協会担当者が協働で事業を実施</li> <li>◆事業者ネットワークの充実</li> <li>○事業者向けセミナーの開催（参加者107名）</li> </ul> <p style="text-align: center;">一部解決</p>
<p>3年度評価</p>	<p style="text-align: center;">不十分</p>	<p>次年度（5年度）以降の展開</p>	<p style="text-align: center;">拡充</p>

今後の取組

<p>4年度目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市としてのMICE推進の活動方針の策定</li> <li>◆MICE推進体制の強化</li> <li>◆MICE開催支援件数の増加</li> <li>◆東京たま未来メッセ指定管理者等との連携</li> </ul>	<p>3年度末時点の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆東京たま未来メッセ指定管理者及び東京都との連携体制の構築</li> <li>◆事業者ネットワークの機能強化</li> <li>◆MICE誘致のための顧客開拓・営業強化</li> <li>◆市としてのMICE推進の活動方針の策定</li> </ul>
<p>4年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市としてのMICE推進の活動方針の策定</li> <li>◆MICE推進</li> <li>○MICEプランナーの活用</li> <li>○MICE誘致のための営業強化</li> <li>○ユニークバニユーのPR</li> <li>◆関係団体との連携強化</li> <li>○東京たま未来メッセ指定管理者等との情報共有</li> <li>○市内関係団体や他都市との連携</li> </ul>	<p>5年度の計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆MICE推進の活動方針の着実な実行</li> <li>◆事業者ネットワークの充実</li> <li>◆MICE誘致の強化、視察受け入れ強化</li> <li>◆市内関係団体や他都市との連携</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	事業資金助成						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	事業資金融資あっ旋条例、事業資金融資あっ旋要綱、マル経融資利子補給金補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内で小規模事業を営み、または営もうとする法人・個人に対し、その事業に要する資金について金融機関に融資をあっ旋することによって、小規模事業者の自主的な経済活動を促進し、もって小規模事業の育成及び振興に寄与する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	9,545	7,006	16,194	9,188	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,402	1,136	11,765	10,629		国庫支出金	0	0	0	
		その他	6,838	10,648	8,838	△ 1,810		都支出金	0	0	0	
		小計	19,785	18,790	36,796	18,006		分担金及び負担金	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	1,983	1,266	1,524		258	使用料及び手数料	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0
			減価償却費	485	485	485		0	その他	0	1,597	0
			その他	0	0	0		0	小計	0	1,597	0
	小計	2,468	1,751	2,009	258	経常収支差額(A)		△ 250,440	△ 153,119	△ 177,987	△ 24,868	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
徴収不能引当金繰入額		0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 250,440	△ 153,119	△ 177,987	△ 24,868			
小計	22,252	20,541	38,806	18,265								
移転費用	228,188	134,174	139,181	5,006								
小計	250,440	154,716	177,987	23,271								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	小規模事業資金助成【41,983千円】 小口事業資金助成【71,307千円】	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
1.32人	0.98人	2.27人	1.29人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	7.9	12.1	20.7	8.5
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				

事業実績

3年度目標	新型コロナウイルス感染症の影響が出ている中小企業等が安定的、効率的な経営ができるよう事業資金をあっ旋するほか、信用保証料補助等の支援を引き続き行う。	2年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	<p>事業者への信用保証料補助及び利子補給を、下記のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小口事業資金 融資件数-303件、保証料補助-40,896,312円 利子補給件数-461件、利子補給額-30,410,897円</li> <li>・小規模事業資金 融資件数-378件、保証料補助-24,225,328円 利子補給件数-1,045件、利子補給額-17,758,257円</li> <li>・創業支援資金 融資件数-80件、保証料補助-7,443,437円 利子補給件数-199件、利子補給額-6,015,247円</li> <li>・企業活力支援資金 利子補給件数-1,490件、利子補給額-10,787,440円</li> <li>・経営改善事業資金 利子補給件数-42件、利子補給額-1,065,365円</li> </ul>	課題への対応	<p>令和3年度は、国のセーフティネット保証制度以外に事業資金あっ旋制度の利用が予想されるので、支援を引き続き行う。</p> <p style="text-align: center;">解決</p>
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業が安定的、効率的な経営ができるよう事業資金をあっ旋するほか、信用保証料補助等の支援を引き続き行う。</li> <li>・制度を見直し、新たな融資あっ旋制度を構築する。</li> </ul>	3年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者への更なる周知・相談・説明</li> <li>・新たな融資あっ旋内容が追加できるか調査研究</li> </ul>
4年度の取組	事業者への更なる周知・説明を実現するため、新年度においても金融機関への制度説明会を開催し、新たに構築した制度の周知徹底を行う。	5年度の計画	中小企業が安定的、効率的な経営ができる事業資金あっ旋制度を運用していく。

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	商店街の振興						事業類型	補助・負担・支援								
担当部課	産業振興部 産業振興推進課															
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと創生総合戦略	③	-				
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費		項	01	商工費		目	01	商工振興費	
根拠法令等	商店街振興組合法、八王子市はばたけ商店街事業補助金交付要綱、八王子市輝く個店グループ支援事業補助金交付要綱、八王子市商店街防犯設備整備事業補助金交付要綱															
事業目的 (最終的に目指す状態)	商店街の整備、店舗の集団化、共同店舗等の整備等の事業を円滑に実施し、中小小売商業者の経営の近代化を促進すること等により、中小小売商業の振興を図る。															

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	9,328	7,578	6,206	△ 1,371	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,707	645	530	△ 115		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	23,372	15,032	15,406	374
	小計	11,035	8,223	6,737	△ 1,486	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	物件費等	物件費	272	120	120	0		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	841	806	△ 34
		その他	0	0	0	0		小計	23,372	15,873	16,212	340
	小計	272	120	120	0	経常収支差額(A)		△ 30,786	△ 20,309	△ 18,524	1,785	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
徴収不能引当金繰入額		0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 30,786	△ 20,309	△ 18,524	1,785			
小計	11,307	8,343	6,857	△ 1,486								
移転費用	42,851	27,839	27,880	41								
小計	54,158	36,182	34,737	△ 1,445								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	—	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
1.29人	1.06人	0.87人	△ 0.19人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	20.4	22.7	19.4	△3.3	
活動指標	イベント回数	回	66	32	41	9	新型コロナウイルス感染症拡大防止による。
	単位当たりコスト	円/回	820,578	1,130,686	847,232	△ 283,454	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	各商店街が創意工夫しながら、自主的なイベントを実施することで、まちの賑わい及び地域経済の活性化の向上を図る。	2年度末時点の課題	輝く個店グループ支援事業の補助のあり方。
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントを中止とする商店街があったが、規模を縮小するなど、工夫して実施したことで、まちの賑わい及び地域経済の活性化の向上につながった。	課題への対応	申請件数の減少により、令和3年度で廃止とした。
			解決
3年度評価	やや不十分	次年度(5年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	各商店街が創意工夫しながら、自主的なイベントを実施することで、まちの賑わい及び地域経済の活性化の向上を図る。	3年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従前のイベント実施が困難となっている。
4年度の取組	コロナ渦におけるイベントの在り方を事業者とともに検討し、まちの賑わい及び地域経済の活性化を図る事業を支援する。	5年度の計画	コロナ渦におけるイベントの在り方を事業者とともに検討し、まちの賑わい及び地域経済の活性化を図る事業を支援する。

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	都市活性化						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	活力ある都市づくり推進事業補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	「ファッション都市・八王子基本構想」をもとに、商工会議所が中心となって行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を支援し、中心市街地を主軸とした、本市の活性化を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	2,314	1,787	571	△ 1,217	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	202	152	49	△ 103		国庫支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	
		小計	2,516	1,939	619	△ 1,320		分担金及び負担金	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	0	0	0		0	使用料及び手数料	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	660	296	1,096
			その他	0	0	0		0	小計	660	296	1,096
	小計	0	0	0	0	経常収支差額(A)		△ 4,456	△ 1,644	△ 2,124	△ 480	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 4,456	△ 1,644	△ 2,124	△ 480	
	小計	2,516	1,939	619	△ 1,320							
	移転費用	2,600	0	2,600	2,600							
小計	5,116	1,939	3,219	1,280								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	—	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.32人	0.25人	0.08人	△ 0.17人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	49.2	100.0	19.2	△80.8
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				

事業実績

3年度目標	商工会議所が中心となり行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を支援することで、本市の活性化を図る。	2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止
目標に対する事業実績	コロナウイルス感染症対策の観点から一部のイベントについて規模を縮小して実施せざるを得なかったが、年度当初の事業計画を概ね実施することができた。	課題への対応	感染状況を注視しながら、イベントなどの規模を縮小して開催するなど、実施方法を見直した。  一部解決
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	商工会議所が中心となり行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を支援することで、中心市街地の賑わいを創出する。	3年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大による事業の中止。
4年度の取組	引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、イベントの内容について見直しを行いながら都市づくりを進めていくことで、まちのにぎわいに寄与する。	5年度の計画	商工会議所が中心となり行われるファッション都市協議会の活力ある都市づくり推進事業を引き続き支援することで、中心市街地の賑わいを創出する。



事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	地域産業振興推進						事業類型	調査・企画立案					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	36	産業振興の体制強化	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	②	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	-												
事業目的 (最終的に目指す状態)	社会的課題の解決に向けてビジネスの手法を用いて取り組むソーシャルビジネス・コミュニティビジネスについて、担い手の発展段階に応じた支援を実施する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	3,326	2,574	6,492	3,918	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	291	219	4,727	4,508		国庫支出金	0	0	0	
		その他	1,560	1,560	0	△ 1,560		都支出金	0	0	0	
		小計	5,177	4,353	11,219	6,866		分担金及び負担金	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	1,480	880	1,387		507	使用料及び手数料	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	877	420	0
			その他	0	0	0		0	小計	877	420	0
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 5,822	△ 4,822	△ 12,645
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0
その他			0	0	0	0	特別収入	0	0	0		
小計			0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0		
小計	6,657	5,232	12,605	7,373	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 5,822	△ 4,822	△ 12,645				
移転費用	43	10	40	30								
小計	6,700	5,242	12,645	7,403								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	SB/CB支援事業業務委託【557千円】	-

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.46人	0.36人	0.91人	0.55人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	77.3	83.0	88.7	5.7
活動指標	会議開催数	回	1	0	0	0
	単位当たりコスト	円/回	6,699,642	-	-	-
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SB/CBの概念を庁内において再認識する。</li> <li>・SB/CBの育成に向けた考え方を庁外に向けての発信する。</li> </ul>	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SB/CBにおける育成方針が定められていない。</li> <li>・産業振興参与の要・不要の判断</li> </ul>
目標に対する事業実績	<p>年度目標を精査し、業務委託によって以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内においてSB/CBに取り組んでいる事業者へのヒアリング 7回（10月-1回、11月-3回、12月-3回）</li> <li>・ヒアリング結果を踏まえた課題抽出</li> </ul>	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SB/CBの事業化に向けた検討</li> <li>・産業振興参与について、役割を果たしたため、任用を見送った。</li> </ul>
3年度評価	やや不十分	次年度（5年度）以降の展開	改善

今後の取組

4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SB/CB事業者を支援、及びSB/CB事業を推進するための中間支援組織のあり方検討</li> </ul>	3年度末時点の課題	SB/CBにおける支援、推進体制が構築されていない。
4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間支援組織のあり方検討会を開催</li> </ul>	5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SB/CBモデル事業の創出</li> <li>・新たな担い手の発掘、育成</li> <li>・支援、推進体制の強化</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	産業イノベーションプランの策定						事業類型	調査・企画立案					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	36	産業振興の体制強化	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	—	—			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	—												
事業目的 (最終的に目指す状態)	令和5年（2022年）3月で計画期間が満了を迎える「産業振興マスタープラン」に代わる本市の産業振興の指針となる「八王子市イノベーションプラン」を策定する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	11,200	—	経常収入	保険料	—	—	0	—	
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	11,277	—		国庫支出金	—	—	0	—	
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	0	—	
	小計	—	—	22,477	—	分担金及び負担金		—	—	0	—		
	業務費用	物件費等	物件費	—	—	6,081		—	使用料及び手数料	—	—	0	—
			維持補修費	—	—	0		—	繰入金	—	—	0	—
			減価償却費	—	—	0		—	その他	—	—	0	—
			その他	—	—	0		—	小計	—	—	0	—
	小計	—	—	6,081	—	経常収支差額(A)		—	—	△ 28,558	—		
	その他の業務費用	その他	支払利息	—	—	0		—	特別費用	—	—	0	—
徴収不能引当金繰入額			—	—	0	—	特別収入	—	—	0	—		
その他			—	—	0	—	特別収支差額(B)	—	—	0	—		
小計	—	—	0	—	特別収支差額(B)	—	—	0	—				
小計	—	—	28,558	—	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	—	—	△ 28,558	—				
移転費用	—	—	0	—									
小計	—	—	28,558	—									

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	プラン策定に向けた共同研究業務委託料【6,000千円】	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	1.57人	—

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	—	—	78.7	—
活動指標	研究会実施回数	回	—	—	17	—
	単位当たりコスト	円/回	—	—	1,679,902	—
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				

事業実績

3年度目標	計画案の方向性決定、施策の柱、基本施策案の策定	2年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	計画案の方向性決定、施策の柱、基本施策案の策定	課題への対応	—
			—
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	廃止

今後の取組

4年度目標	計画策定	3年度末時点の課題	—
4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の現状把握、課題抽出のための企業訪問</li> <li>・研究会での外部団体とのワークショップ等</li> <li>・計画策定</li> </ul>	5年度の計画	—

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対応中小企業者支援						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	37	企業支援	まち・ひと・しごと創生総合戦略	②	—			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市中小企業事業継続支援補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内中小企業を対象に事業継続・売上向上等のための支援を実施し、市内産業の振興を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	6,920	—	経常収入	保険料	—	—	0	—	
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	6,968	—		国庫支出金	—	—	19,436	—	
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	5,000	—	
		小計	—	—	13,887	—		分担金及び負担金	—	—	0	—	
	業務費用	物件費等	物件費	—	—	10,000		—	使用料及び手数料	—	—	0	—
			維持補修費	—	—	0		—	繰入金	—	—	0	—
			減価償却費	—	—	0		—	その他	—	—	0	—
			その他	—	—	0		—	小計	—	—	24,436	—
	その他の業務費用	その他	支払利息	—	—	0		—	経常収支差額(A)	—	—	△ 18,887	—
			徴収不能引当金繰入額	—	—	0		—	特別費用	—	—	0	—
その他			—	—	0	—	特別収入	—	—	0	—		
小計			—	—	0	—	特別収支差額(B)	—	—	0	—		
小計		—	—	23,887	—	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	—	—	△ 18,887	—			
移転費用		—	—	19,436	—								
小計		—	—	43,323	—								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業事業継続支援補助金【19,436千円】</li> <li>・売上アップ支援事業業務委託【5,000千円】</li> <li>・新分野展開促進業務委託【5,000千円】</li> </ul>	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	0.97人	—

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	—	—	32.1	—	
活動指標	補助金交付件数	件	—	—	31	—	
	単位当たりコスト	円/件	—	—	1,397,528	—	
成果指標	補助金交付額	円	—	—	19,436,000	—	
	単位当たりコスト	—	—	—	2	—	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中小企業が所有する設備に係る修繕等の経費を補助</li> <li>・市内中小企業の売上向上につながるセミナー・相談会の実施</li> <li>・新分野展開に取り組む市内中小企業を対象としたワークショップを開催</li> </ul>	2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、売上の減少や既存事業からの脱却の必要性に直面している事業者への継続支援
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業事業継続支援補助金 31件・19,436千円</li> <li>・売上アップ支援事業業務委託 5,000千円（八王子商工会議所）</li> <li>・セミナー等参加者 延べ153名</li> <li>・新分野展開促進業務委託 5,000千円（TAMA協会）</li> </ul>	課題への対応	市内中小企業の売上向上支援及び新分野展開支援については、令和4年度（2022年度）は、中小企業等の活性化支援事業（中事業）として実施する。
			解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	廃止

今後の取組

4年度目標	—	3年度末時点の課題	—
4年度の取組	—	5年度の計画	—

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対応事業者等支援					事業類型	補助・負担・支援						
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	5	章	1	施策番号	41	にぎわにつながる産業の振興		まち・ひと・しごと創生総合戦略	—	—		
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市サテライトオフィス設置補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	・「新しい生活様式」における働き方として国及び東京都が推進するテレワークについて、新型コロナウイルス感染拡大防止と働き方改革を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	3,353	—	経常収入	保険料	—	—	0	—	
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	3,376	—		国庫支出金	—	—	0	—	
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	0	—	
		小計	—	—	6,729	—		分担金及び負担金	—	—	0	—	
	業務費用	物件費等	物件費	—	—	0		—	使用料及び手数料	—	—	0	—
			維持補修費	—	—	0		—	繰入金	—	—	0	—
			減価償却費	—	—	0		—	その他	—	—	0	—
			その他	—	—	0		—	小計	—	—	0	—
	その他の業務費用	その他	支払利息	—	—	0		—	経常収支差額(A)	—	—	△ 8,749	—
			徴収不能引当金繰入額	—	—	0		—	特別費用	—	—	0	—
その他			—	—	0	—	特別収入	—	—	0	—		
小計			—	—	0	—	特別収支差額(B)	—	—	0	—		
小計		—	—	6,729	—	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	—	—	△ 8,749	—			
移転費用		—	—	2,020	—								
小計		—	—	8,749	—								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	—	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	0.47人	—

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	—	—	76.9	—	
成果指標	申請件数	件	—	—	1	—	サテライトオフィス設置補助金
	単位当たりコスト	円/件	—	—	8,748,930	—	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	申請件数6件	2年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	申請件数1件	課題への対応	—
			—
3年度評価	やや不十分	次年度(5年度)以降の展開	廃止

今後の取組

4年度目標	—	3年度末時点の課題	サテライトオフィス設置補助金については、当初見込んでいた申請件数がなかったため、制度廃止とした。
4年度の取組	—	5年度の計画	—



事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策飲食店等応援事業					事業類型	補助・負担・支援						
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	—	章	—	施策番号	—	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	—	—				
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市飲食店認証制度実施要綱、八王子市飲食店感染症対策補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内飲食店が新型コロナウイルス感染症に対する感染症対策を強化し、利用者が安心して飲食を楽しめる環境を整える。また、「新しい生活様式」の定着を図るとともに、緊急事態措置等により大きな影響を受けている飲食店等を支援する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	—	—	9,345	—	経常収入	保険料	—	—	0	—	
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	—	9,410	—		国庫支出金	—	—	32,319	—	
		その他	—	—	0	—		都支出金	—	—	229,708	—	
	小計		—	—	18,755	—		分担金及び負担金	—	—	0	—	
	業務費用	物件費等	物件費	—	—	272,714		—	使用料及び手数料	—	—	0	—
			維持補修費	—	—	0		—	繰入金	—	—	0	—
			減価償却費	—	—	0		—	その他	—	—	0	—
			その他	—	—	0		—	小計	—	—	262,027	—
	小計		—	—	272,714	—		経常収支差額(A)	—	—	△ 54,152	—	
	その他の業務費用	支払利息	—	—	0	—		特別費用	—	—	0	—	
徴収不能引当金繰入額		—	—	0	—	特別収入	—	—	0	—			
その他		—	—	0	—	特別収支差額(B)	—	—	0	—			
小計		—	—	0	—	特別収支差額(B)	—	—	0	—			
小計		—	—	291,469	—	本年度収支差額 (A)+(B)=(C)	—	—	△ 54,152	—			
移転費用		—	—	24,710	—								
小計		—	—	316,179	—								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	—	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
—	—	1.31人	—

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	—	—	5.9	—	
成果指標	申請件数	件	—	—	665	—	
	単位当たりコスト	円/件	—	—	475,457	—	
成果指標	補助金申請件数	件	—	—	125	—	
	単位当たりコスト	円/件	—	—	2,529,433	—	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証申請件数 600店舗</li> <li>・補助金申請数 350店舗</li> </ul>	2年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証申請件数 665店舗</li> <li>・補助金申請数 125店舗</li> </ul>	課題への対応	—
			—
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請件数 500件</li> </ul>	3年度末時点の課題	非認証店舗への制度周知
4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都と連携しながら認証申請を周知していく。</li> <li>・前年度認証した店舗の現地確認調査を実施し、継続して感染対策を講じているかを確認する。</li> <li>・デジタル技術を活用したキャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施する。</li> </ul>	5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都と連携しながら認証申請を周知していく。</li> <li>・前年度認証した店舗の現地確認調査を実施し、継続して感染対策を講じているかを確認する。</li> <li>・認証申請制度の今後の方向性を検討する。</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対応事業者等支援					事業類型	補助・負担・支援						
担当部課	産業振興部 産業振興推進課												
基本計画	編	—	章	—	施策番号	—	まち・ひと・しごと創生総合戦略						
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠法令等	八王子市事業継続緊急支援金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	特別枠として追加交付されることとなった国の地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響により減益となった市内事業者等の事業継続を支援する。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	—	9,508	2,782	△ 6,726	経常収入	保険料	—	0	0		
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	9,719	238	△ 9,481		国庫支出金	—	1,535,749	469,059	△ 1,066,690	
		その他	—	0	0	0		都支出金	—	50,800	0	△ 50,800	
		小計	—	19,227	3,020	△ 16,207		分担金及び負担金	—	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	—	46,245	45,632		△ 613	使用料及び手数料	—	0	0	0
			維持補修費	—	0	0		0	繰入金	—	0	0	0
			減価償却費	—	0	0		0	その他	—	0	6,088	6,088
			その他	—	0	0		0	小計	—	1,586,549	475,147	△ 1,111,402
	その他の業務費用	その他	支払利息	—	0	0		0	経常収支差額(A)	—	△ 19,411	△ 125,305	△ 105,894
			徴収不能引当金繰入額	—	0	0		0	特別費用	—	0	0	0
			その他	—	0	0		0	特別収入	—	0	0	0
			小計	—	0	0		0	特別収支差額(B)	—	0	0	0
	小計	—	65,472	48,652	△ 16,821	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		—	△ 19,411	△ 125,305	△ 105,894		
	移転費用	—	1,540,488	551,800	△ 988,688								
	小計	—	1,605,960	600,452	△ 1,005,508								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	—	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
—	1.33人	0.39人	△ 0.94人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	—	1.2	0.5	△0.7	
成果指標	支給件数	件	—	2,031	135	△ 1,896	実績による
	単位当たりコスト	円/件	—	790,724	4,447,791	3,657,067	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けた市内事業者を支援することで、市内経済の下支えを行う。	2年度末時点の課題	—
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けた市内事業者を対象に事業継続緊急支援金事業（3回目）を実施したことで、市内経済の下支えを行うことができた。	課題への対応	—
			—
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けている市内事業者等を継続的に支援することで、市内経済の下支えを行う。	3年度末時点の課題	—
4年度の取組	「新しい生活様式」の定着を図り、新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている飲食店等を支援するため、デジタル技術を活用したキャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施する。	5年度の計画	新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けている市内事業者等を引き続き支援することで、市内経済の更なる下支えを行う。

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	観光資源の開発・活用						事業類型	その他					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、平成31年度（公社）八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱、覚書（地権者と市の間で取り交わしている）												
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の緑豊かな自然をはじめ、長い歴史と伝統文化など、来訪者を魅了する観光資源を発見・開発・活用し、まちのイメージアップによる来訪者の増加を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	9,111	6,577	7,062	485	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,641	560	1,603	1,043		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計	11,752	7,137	8,665	1,529	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	業務費用	物件費	9,683	9,688	8,433	△ 1,255		使用料及び手数料	3,232	3,800	731	△ 3,069
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	1,638	0	△ 1,638
		その他	0	0	0	0		小計	3,232	5,438	731	△ 4,707
	小計	9,683	9,688	8,433	△ 1,255	経常収支差額(A)		△ 39,649	△ 11,833	△ 17,605	△ 5,772	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
徴収不能引当金繰入額		0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0		
その他		0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 39,649	△ 11,833	△ 17,605	△ 5,772			
小計	21,435	16,825	17,098	273								
移転費用	21,446	446	1,238	792								
小計	42,881	17,272	18,336	1,065								

3年度	経常費用		経常収入		
主な内訳	滝山観桜林の維持管理【4,859千円】 高尾の里維持管理【3,821千円】		—		

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
1.26人	0.92人	0.99人	0.07人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	27.4	41.3	47.3	5.9	
成果指標	木下沢梅林特別開放来場者	人	0	5,682	10,740	5,058	屋外にある梅林の鑑賞であるため、コロナ禍ではあるが昨年に引き続き感染対策を行ったうえで特別開放を実施した。昨年よりも感染が落ち着いていたため、来場者が増加した。
	単位当たりコスト	円/人	—	3,040	1,707	△ 1,332	
成果指標	花火大会観覧者数	人	800,000	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に引き続き令和3年度もイベントの開催が中止となったため。
	単位当たりコスト	円/人	54	—	—	—	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

<p>3年度目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子花火大会の開催支援</li> <li>・観光資源の維持管理に努めるとともに、観光資源の効果的な発見・開発・活用とコロナ禍における対策に取り組む。</li> </ul>	<p>2年度末時点の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍におけるイベントの実施について、国や都のガイドラインや関係機関の要請等の状況を鑑みただで大会開催の可否及び実施手法を検討する必要がある。</li> <li>・今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理が求められる。</li> </ul>
<p>目標に対する事業実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症のまん延状況や行動制限の先行きが見通せない中で、観客の安全対策を完全に確保することは困難として主催者である八王子観光コンベンション協会が大会開催の中止を判断した。</li> <li>・滝山観桜林及び高尾梅の里等の環境維持事業を実施し、来訪者の安全確保や賑わいの創出に努めた。さらに、誘客を伴う企画事業については、新型コロナウイルス感染症対策として三密回避の徹底を遵守するなど、状況に応じた対策を行い、安全な観光地づくりを図った。</li> </ul>	<p>課題への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や都のガイドラインや要請内容の動向を見守るとともに近隣自治体の花火大会大会主催者と情報共有を図り、開催の可能性を探った。</li> <li>・新型コロナウイルスへの対応も含め、今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理に努める。</li> </ul> <p style="text-align: center;">一部解決</p>
<p>3年度評価</p>	<p style="text-align: center;">達成</p>	<p>次年度(5年度)以降の展開</p>	<p style="text-align: center;">現状維持</p>

今後の取組

<p>4年度目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子花火大会の開催支援</li> <li>・観光資源の維持管理に努めるとともに、観光資源の効果的な発見・開発・活用に取り組む。</li> </ul>	<p>3年度末時点の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染症のまん延が発生する可能性がある中で、国や都のガイドラインや関係機関の要請等の状況を鑑みただで開催の有無及び実施手法を検討する必要がある。</li> <li>・今後も、引き続き観光資源の適正な維持管理が求められる。</li> </ul>
<p>4年度の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催時に来場者が群衆として密にならないよう開催手法の検討を行い、打上げ会場の分散化や無観客によるサプライズ方式等による実施の可能性について模索している。</li> <li>・滝山観桜林の環境維持</li> <li>・高尾梅の里の環境整備</li> </ul>	<p>5年度の計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子花火大会の開催</li> <li>・滝山観桜林の環境維持</li> <li>・高尾梅の里の環境整備</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	観光資源情報の活用						事業類型	普及啓発・情報提供・相談					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、令和2年度（公社）八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	(公社)八王子観光コンベンション協会とともに、市内の多岐にわたる魅力を市内外及び海外に発信することによる来訪者の増加、また、おもてなしの向上によりリピーターが増加し、市内が賑わい活力に満ち溢れている状態を目指す。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	13,739	12,368	7,134	△ 5,234	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	4,906	1,108	609	△ 499		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	512	2,376	1,758	△ 618
	小計	18,645	13,476	7,743	△ 5,733	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	物件費等	物件費	3,593	1,084	155	△ 929		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	197	597	597	0		その他	5,138	4,185	4,655	470
		その他	0	0	0	0		小計	5,650	6,561	6,413	△ 148
	小計	3,790	1,681	752	△ 929	経常収支差額(A)		△ 49,632	△ 45,492	△ 38,648	6,843	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 49,632	△ 45,492	△ 38,648	6,843	
	小計	22,435	15,157	8,495	△ 6,661							
	移転費用	32,846	36,896	36,567	△ 330							
小計	55,282	52,053	45,062	△ 6,991								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	インフォメーションセンター運営事業補助金【32,653千円】 観光マップ等作成事業補助金【3,695千円】 高尾山・リニア広域観光拠点地区連絡会負担金【147千円】	区市町村観光インフラ整備支援補助金【1,758千円】 多摩・島しょ広域連携活動助成金【147千円】

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
1.90人	1.73人	1.00人	△ 0.73人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	33.7	25.9	17.2	△ 8.7	実績による
成果指標	案内所利用者数	人	282,348	222,555	241,361	18,806	
	単位当たりコスト	円/人	196	234	187	△ 47	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	新たな生活様式に則した観光情報の発信として、観光マップのデジタル化を促進し、アフターコロナを見据えた来訪者の誘致を図る。	2年度末時点の課題	観光大使等による継続した情報発信方法の検討。また、非接触での情報発信方法としての観光マップや情報取得のデジタル化。アフターコロナを見据えた外国人観光客誘致に向けた情報発信方法。
目標に対する事業実績	観光情報取得の利便性向上に向けた観光マップのデジタル化及び多言語化。	課題への対応	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う新たな生活様式に則した魅力発信として、観光大使等によるSNSや動画などを活用した発信を実施した。また、八王子インフォメーションセンター及び（公社）八王子観光コンベンション協会案内所の効果的かつ複合的な情報発信として、関係団体と調整を行っている。</p> <p style="text-align: center;">一部解決</p>
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	デジタルを利用した観光情報の発信として、観光コンベンション協会HPをリニューアルし、アフターコロナを見据えた来訪者の誘致を図る。	3年度末時点の課題	観光コンベンション協会HPリニューアルに向けた考え方や方向性を整理する。
4年度の取組	観光客のニーズに則したコンベンション協会HPのリニューアル。	5年度の計画	デジタルを利用した観光情報の発信に磨きをかける。



事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	一般観光の推進						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	④	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	八王子市いきいき産業基本条例、令和3年度（公社）八王子観光コンベンション協会に対する補助金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	観光産業振興プランの主体的な担い手である（公社）八王子観光コンベンション協会の人件費の一部を補助し、本市と相互に連携することで、観光客の誘致を促進し、本市の観光振興を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	16,920	9,865	7,633	△ 2,232	経常収入	保険料	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,582	840	652	△ 188		国庫支出金	0	0	0	
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	
		小計	19,503	10,705	8,285	△ 2,420		分担金及び負担金	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	5,759	5,487	6,192		705	使用料及び手数料	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0
			減価償却費	384	576	576		0	その他	3,232	8,585	1,768
			その他	0	0	0		0	小計	3,232	8,585	1,768
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 83,427	△ 65,436	△ 75,222
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0
その他			0	0	0	0	特別収入	0	0	0		
小計	0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0				
小計	25,646	16,769	15,054	△ 1,715	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 83,427	△ 65,436	△ 75,222				
移転費用	61,013	57,253	61,936	4,683								
小計	86,659	74,022	76,990	2,968								

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	八王子観光コンベンション協会補助金【61,877千円】 八王子観光コンベンション協会事務所管理費【5,881千円】	施設共益費等負担金【266千円】

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
2.34人	1.38人	1.07人	△ 0.31人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	22.5	14.5	10.8	△3.7
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				
	単位当たりコスト	円/				

事業実績

3年度目標	協会をはじめ、都市間交流を行っている行政や関連団体とともに、本市の魅力的な観光資源や見どころ等を活用し、本市への来訪を促すとともに再訪を促すための観光情報の発信に努める。	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>協会における働き方改革の実現。</li> <li>コロナ禍における都市間交流を行っている行政や関連団体との連携の推進。</li> </ul>
目標に対する事業実績	協会が取り組む一般観光の推進のため、八王子観光コンベンション協会等が行う事業へ補助金等の支出を行った。	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした緊急事態宣言の発出等に伴い、多くのイベントが中止となったことにより協会全体での時間外勤務手当は減少傾向にある。</li> </ul>
			一部解決
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	改善

今後の取組

4年度目標	協会が取り組む一般観光の後押しを行うとともに、観光に関する調査研究、情報の収集、イベントの開催、観光資源の保護・開発の促進その他観光産業振興事業に関する事業振興の推進を通じ、来訪者の誘致を図る。	3年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>協会における働き方改革の実現。</li> <li>本市観光施策における協会の役割の明確化。</li> <li>コロナ禍における都市間交流を行っている行政や関連団体との連携の推進。</li> </ul>
4年度の取組	観光情報のデジタル化を進め、魅力ある観光情報を発信し、来訪者の誘致につなげる。引き続き都市間交流を行っている行政や関連団体と連携し、来訪者の誘致を強化してゆく。	5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>協会のDMO取得及び財政的自立化に向けた取り組みを支援していく。</li> <li>ウィズコロナ及びアフターコロナを見据えて都市間交流を行っている行政や関連団体との連携を推進していく。</li> </ul>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	新たな観光資源の整備						事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-			
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	観光立国推進基本法、八王子市いきいき産業基本条例、令和3年度観光産業振興事業負担金交付要綱												
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の新たな観光産業の魅力を発掘し、来訪者の誘致及び賑わいの創出を促す。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	10,412	7,292	7,847	555	経常収入	保険料	0	0	0		
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,712	621	1,796	1,175		国庫支出金	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		都支出金	35	4,350	3,670	△ 680	
		小計	13,124	7,913	9,643	1,731		分担金及び負担金	0	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	1,156	1,994	773		△ 1,221	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	262	632		371	その他	0	2,514	0	△ 2,514
			その他	0	0	0		0	小計	35	6,864	3,670	△ 3,194
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 17,079	△ 7,527	△ 14,488	△ 6,961
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
その他			56	50	50	0	特別収入	0	0	0	0		
小計			56	50	50	0	特別収支差額(B)	0	0	0	0		
小計	14,336	10,218	11,099	881	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 17,079	△ 7,527	△ 14,488	△ 6,961				
移転費用	2,778	4,173	7,059	2,886									
小計	17,114	14,392	18,158	3,766									

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	国史跡滝山城跡周辺の観光資源活用【821千円】 滝山城築城500周年記念事業【7,058千円】	-

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
1.44人	1.02人	1.10人	0.08人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	76.7	55.0	53.1	△1.9	
成果指標	AR滝山城跡アプリダウンロード数	件	2,543	3,141	3,122	△ 19	
	単位当たりコスト	円/件	6,730	4,582	5,816	1,234	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滝山城築城500年記念事業を通じた滝山城と城主北条氏照の普及啓発及び加住地域の観光推進。</li> <li>・フードフェスティバルについては、ウィズコロナの中でのイベントの継続を支援する。</li> </ul>	2年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を講じた安全な事業推進の検討。</li> <li>・日本遺産と連携した情報発信と観光PR。</li> </ul>
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催を見送った。</li> <li>・滝山城築城500年記念事業では地元地域と連携協力して事業を実施した。コロナ禍ではあるが、滝山城のマンガ冊子を作成し、小中学生をはじめ多くの市民に滝山城と北条氏照を顕彰することができ、小和田哲男氏を招いた記念講演会では定員（700名）が来場し、大盛況となった。また、コロナ禍でのイベント開催に対応するサーマルカメラ等の活用など今後のイベント実施に向けた実証もできた。</li> </ul>	課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントの開催を見送った。</li> <li>・感染状況によるイベント開催の可否を参加者に遅滞なく伝える必要から、今後はインターネットやSNSを中心にした申込方法のみとなることへの市民の合意形成。</li> </ul>
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

今後の取組

4年度目標	ウィズコロナ及びアフターコロナの中でのイベントのあり方や開催の手法を模索し、イベントの継続を図る。	3年度末時点の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィズコロナの中でのイベントのあり方や開催の手法を模索し、イベントの継続を図る。</li> <li>・滝山城と八王子城を合わせた観光コンテンツとしての発信</li> </ul>
4年度の取組	ウィズコロナ及びアフターコロナの中でのイベントのあり方や開催の手法を模索し、イベントの継続を図る。	5年度の計画	ウィズコロナ及びアフターコロナの中でのイベントのあり方や開催の手法を模索し、イベントの継続を図る。

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	日本遺産を活かした観光推進					事業類型	イベント						
担当部課	産業振興部 観光課												
基本計画	編	—	章	—	施策番号	—	まち・ひと・しごと創生総合戦略						
予算科目	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠法令等	—												
事業目的 (最終的に目指す状態)	本市の日本遺産の構成文化財をはじめ、市内に点在する様々な観光資源を謎解きストーリーとして結び付け、歴史・文化・観光等に触れながら楽しくまち巡りを行うことのできるイベントを実施することにより、市外からの来訪者の増加、地域経済の活性化及び本市の日本遺産の認知度向上を図る。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	—	10,509	13,269	2,760	経常収入	保険料	—	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	—	10,742	3,705	△ 7,037		国庫支出金	—	0	19,700	19,700
		その他	—	0	0	0		都支出金	—	13,930	6,523	△ 7,407
		小計	—	21,251	16,974	△ 4,277		分担金及び負担金	—	0	0	0
	物件費等	物件費	—	29,985	28,691	△ 1,294		使用料及び手数料	—	0	0	0
		維持補修費	—	0	0	0		繰入金	—	0	0	0
		減価償却費	—	0	0	0		その他	—	0	0	0
		その他	—	0	0	0		小計	—	13,930	26,223	12,293
	その他の業務費用	支払利息	—	0	0	0		経常収支差額(A)	—	△ 37,306	△ 19,442	17,864
		徴収不能引当金繰入額	—	0	0	0		特別費用	—	0	0	0
		その他	—	0	0	0		特別収入	—	0	0	0
	小計	—	0	0	0	特別収支差額(B)		—	0	0	0	
	小計	—	51,236	45,665	△ 5,571	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		—	△ 37,306	△ 19,442	17,864	
	移転費用	—	0	0	0							
	小計	—	51,236	45,665	△ 5,571							

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	日本遺産体験型観光企画運営業務委託料【19,700千円】	国新型コロナ地方創生臨時交付金【19,700千円】

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
—	1.47人	1.86人	0.39人

指標と単位当たりコスト

指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
その他	人件費比率	%	—	41.5	37.2	△4.3	
活動指標	イベント参加者数	人	—	—	4,012	—	実績による
	単位当たりコスト	円/人	—	—	11,382	—	
活動指標	イベント満足度	%	—	—	89.9	—	実績による
	単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
活動指標	体験型観光参加者	人	—	—	264	—	実績による
	単位当たりコスト	円/人	—	—	172,973	—	
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産体験型観光（モニターツアー）の完遂</li> <li>・日本遺産を活かした観光情報の発信</li> <li>・日本遺産推進協議会との連携</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた安全安心なイベントの実施</li> </ul>	2年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を延期し、予算を繰り越していた日本遺産体験型観光（モニターツアー）の実施。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産体験型観光（モニターツアー）の実施。体験型観光全25回264名参加。バーチャル観光6回59名参加。</li> <li>・日本遺産構成文化財を謎解きスポットとして設定した、謎解きイベントを開催</li> <li>・日本遺産推進協議会と連携してイベント企画及び周知を実施</li> <li>・謎解きイベントの開催場所を分割した屋外でのイベントを、約3か月にわたって開催したため、コロナ禍における安全安心なイベントを企画。</li> </ul>	課題への対応	<p>新型コロナウイルス感染症拡大状況や国や都の行動規制や要請の内容を把握する中で、感染防止対策の徹底や開催日程の調整を図り、事業を遂行した。</p> <p style="text-align: center;">解決</p>
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	拡充

今後の取組

4年度目標	日本遺産を活かした観光振興	3年度末時点の課題	コロナ禍におけるイベント開催の判断及び感染防止対策の実施
4年度の取組	日本遺産キャンペーンイベントとして、日本遺産構成文化財のPRと観光資源としての育成を目的に高尾山、八王子城、滝山城及び既存イベントであるフードフェスティバルにおいて、日本遺産構成文化財のPRと地域振興に資するイベントを実施する。	5年度の計画	引き続き日本遺産構成文化財のPRと地域振興に資するイベントを実施する。